

おつかい
まじ

1

謡犬ユネ



ゆめのおくで、ひとやすみ…

夜みる夢の 奥の世界

へんてこだらけの星々のあいだに、
小さな島が 浮いていました。

彷徨うものをどこかへ運ぶ 鳥の群れ
彼らが立ち寄る 小さな家

これはそこに住む
小さなお茶汲み君の
おはなしです…



きゃらくたーず



←ツモル やわらかマイペースな主人公



←ハチ ツモルになつく筋肉獣人さん



←ノット ランプに住む幽体魔法使い

それでは、
ゆる夢的
ふしぎひと休み…



1 かつぶん まとめ





ツモルさん

魔法使い達の
の、秘密の
かくれが

何かの名残
辿り着く
海なる宇宙

そこが、
その子の
日常です。

や
ツモル

まいど
今
お茶出しますっ

(主人公)
←お茶汲み係
ツモル君

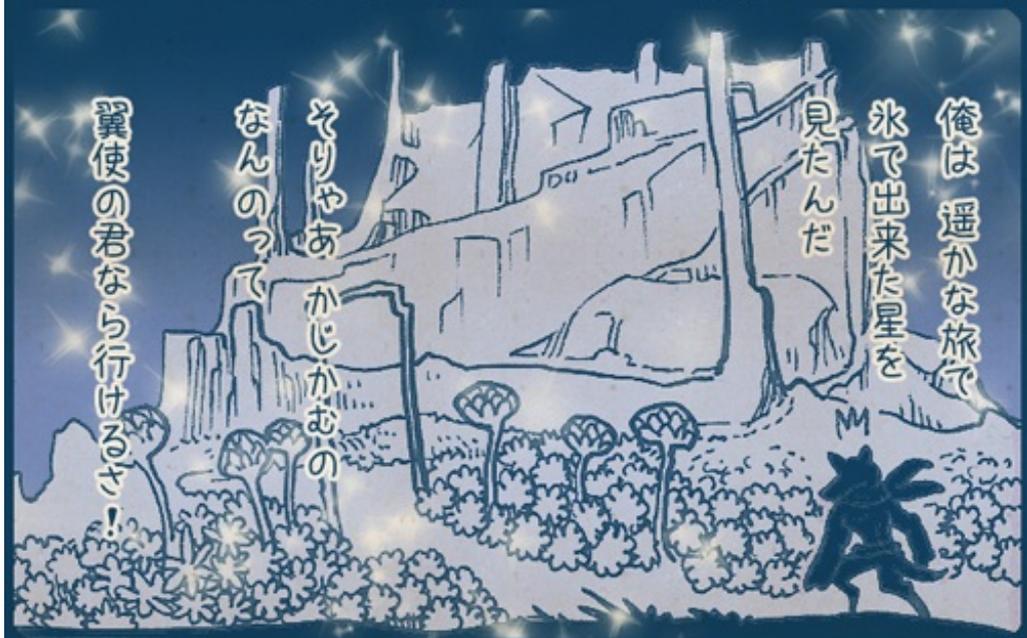


翼使のらいふ



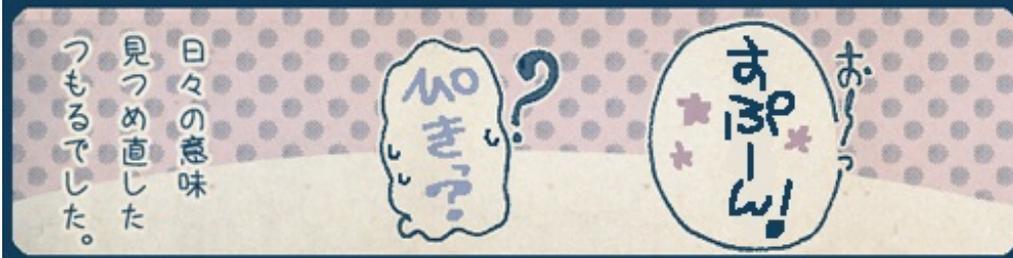
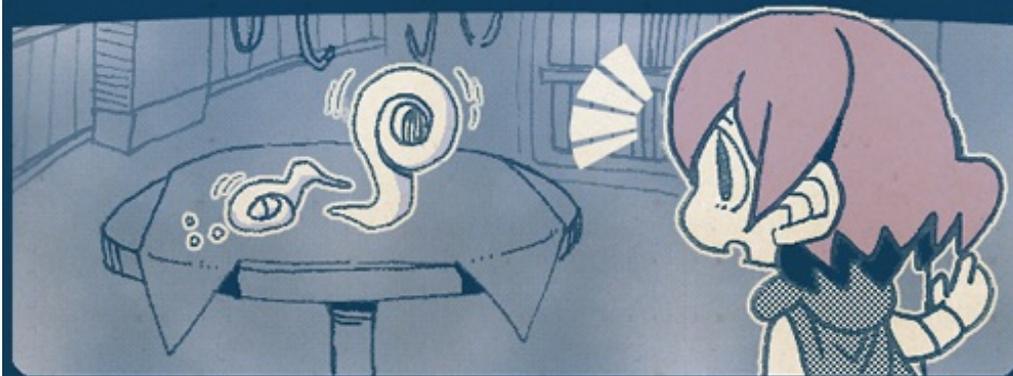


とどろき





しるつもる



へんてこ灯り

玄関 おそうじ
おや？の先に
何か光が…



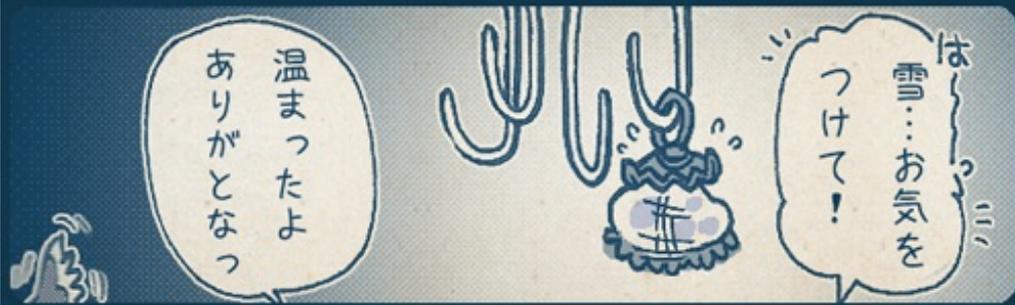
ん？…？
だれの灯り
でしょうか。

さてねえ
見た事ないな



は
雪…お気を
つけて！

温まったよ
ありがとな



ノットさん



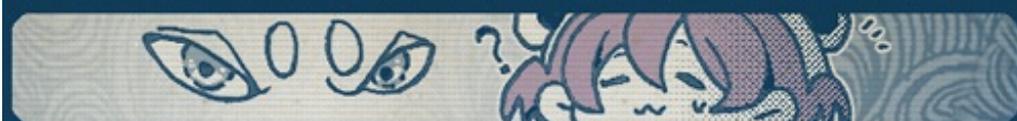
鳥ずのごはん



はこびのなかみ



歩と食





むれのそせい

こんな組成になっ
ているようです。



彷徨う魂を運ぶ
翼使さん達



(☒は 仗-ツです)



鳥のかだい



ツモル君
我らが巫女
どのから、
課題だよ



十の者の頼みを聞き、
絆紡ぎて名運び入よ
…おつかい十人分て事か

見習いへの翻翼の練
それはまず十の環

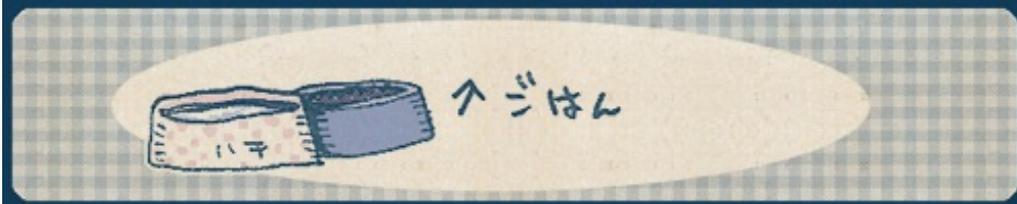
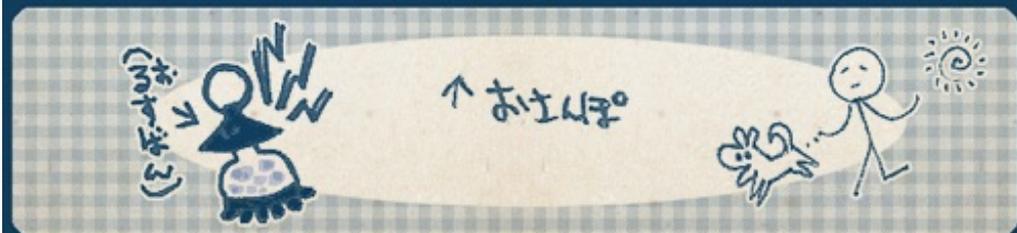


お茶汲み君
喜んでいきます。



何やら、
始まり？

ぼくとハチ







夢こみち

茶葉のお店
帰り道



変な
小道に



夢の
粒子が



よしし今日は
そこ曲がろうか

そんな
こんな
ある日です。

10の1



大丈夫です
少し休めば…
運び届けないと
この灯りを…

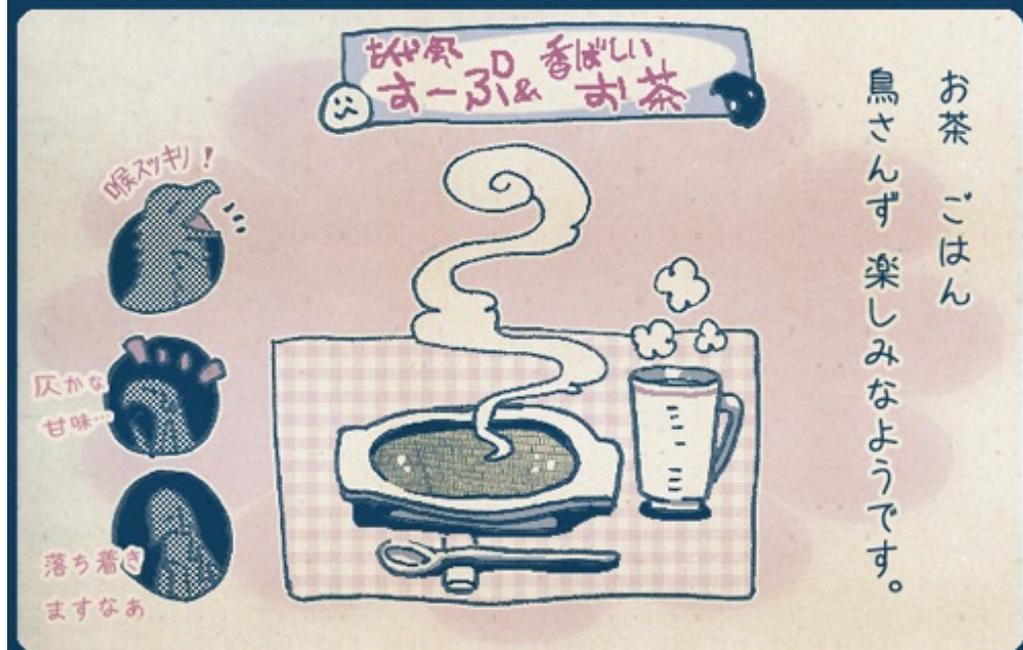


君
顔色
が…



ツモルが助けた
ひとりめの子
元気な羽で
飛び立ちました。

ムワトさん(翼使)



たびゆくものたち

星の
泡の

夢の奥
広がる

どこからどこへか
旅の人々
行き交います。

かれらもぼくも
どこかいつか
さまようものに
なるのかな…

お腹空くナア

いや





はへんのゆくえ



かいだしどっしり

ツモルとハチ
のっしのっし
歩いています。



大丈夫かっ君！
今こそ我が力で
助けてみせる！



あハチは
友達だから！

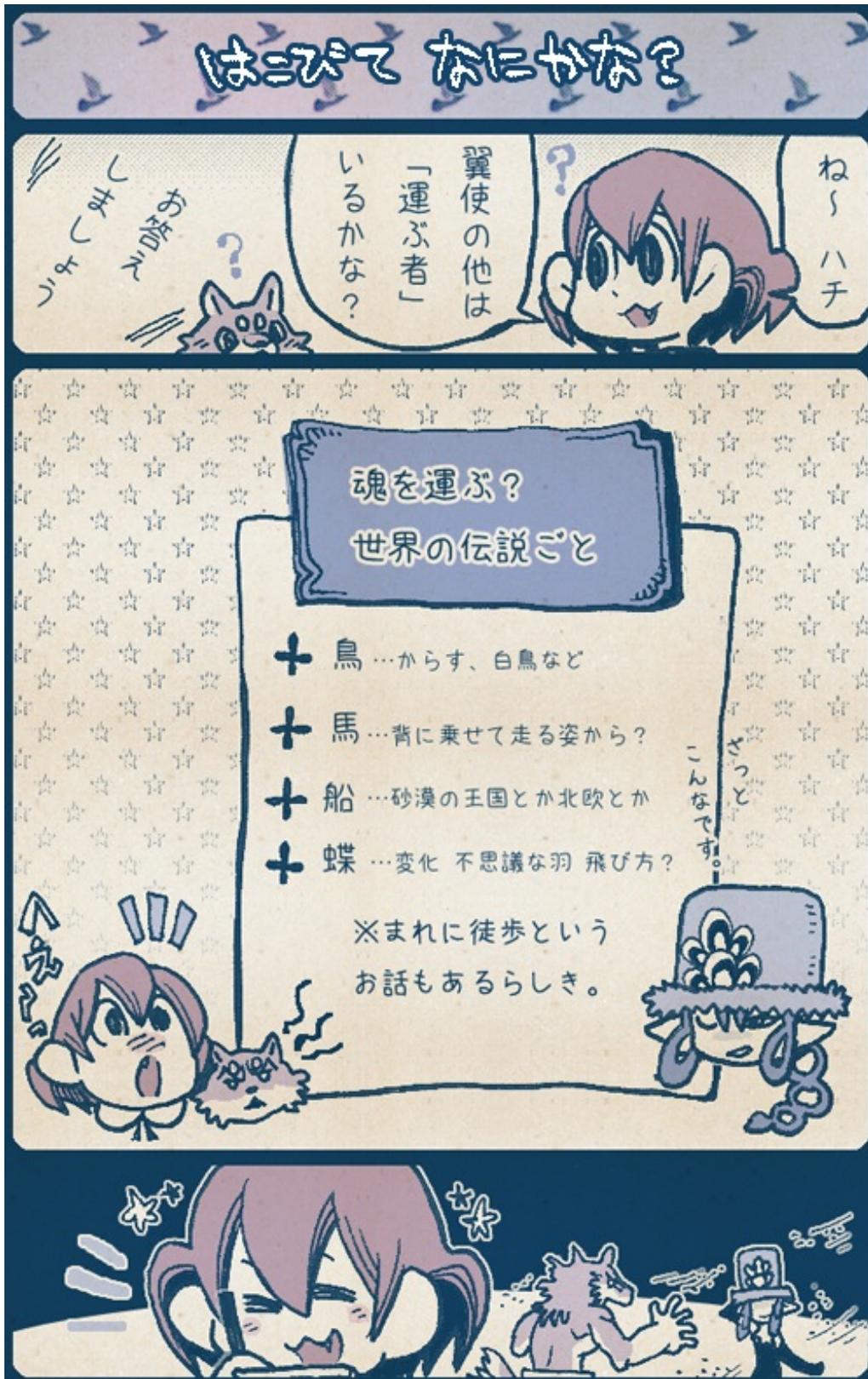


色んな人々
いるようです。



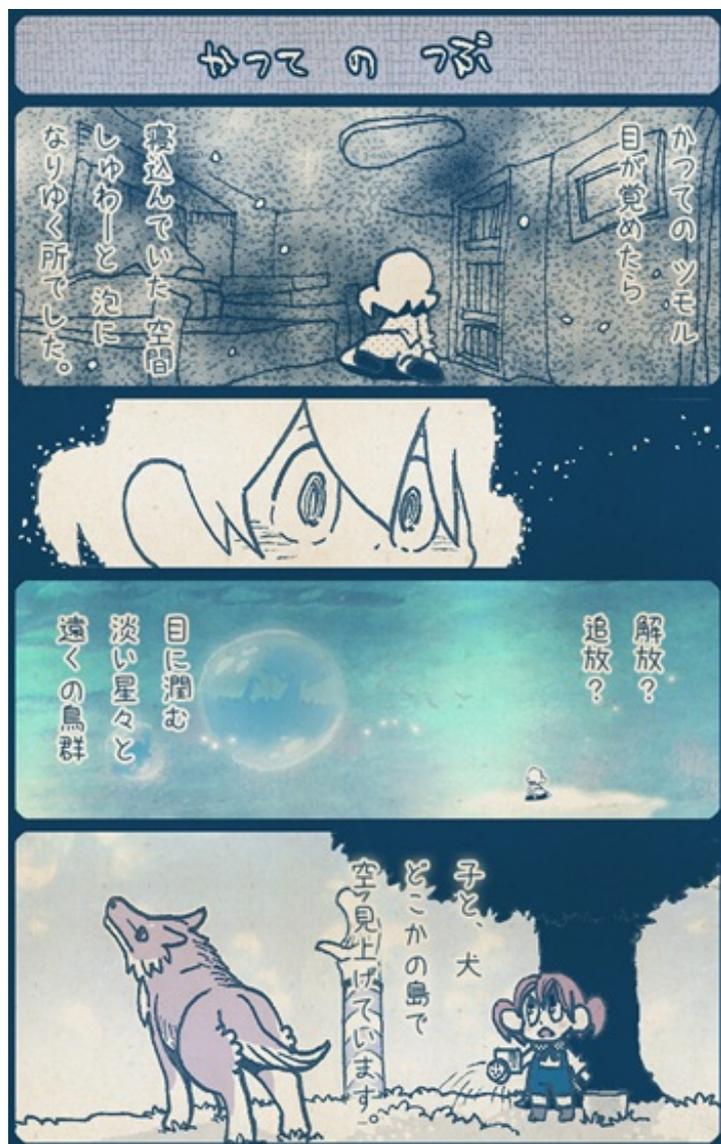
夢の奥どこか



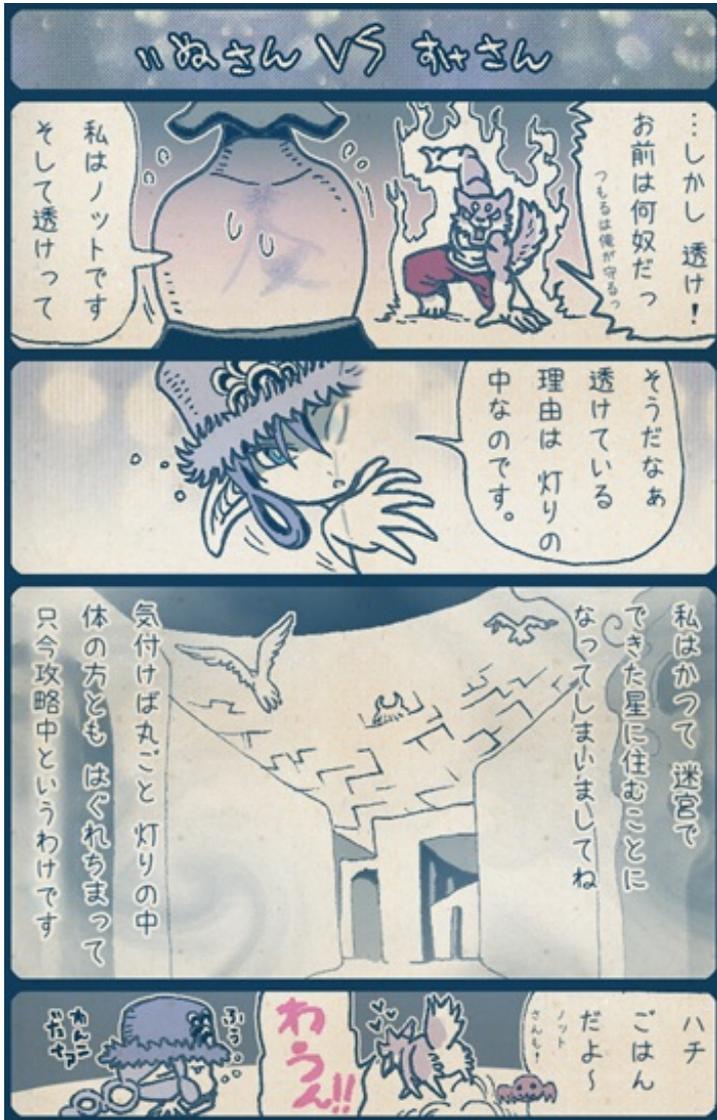


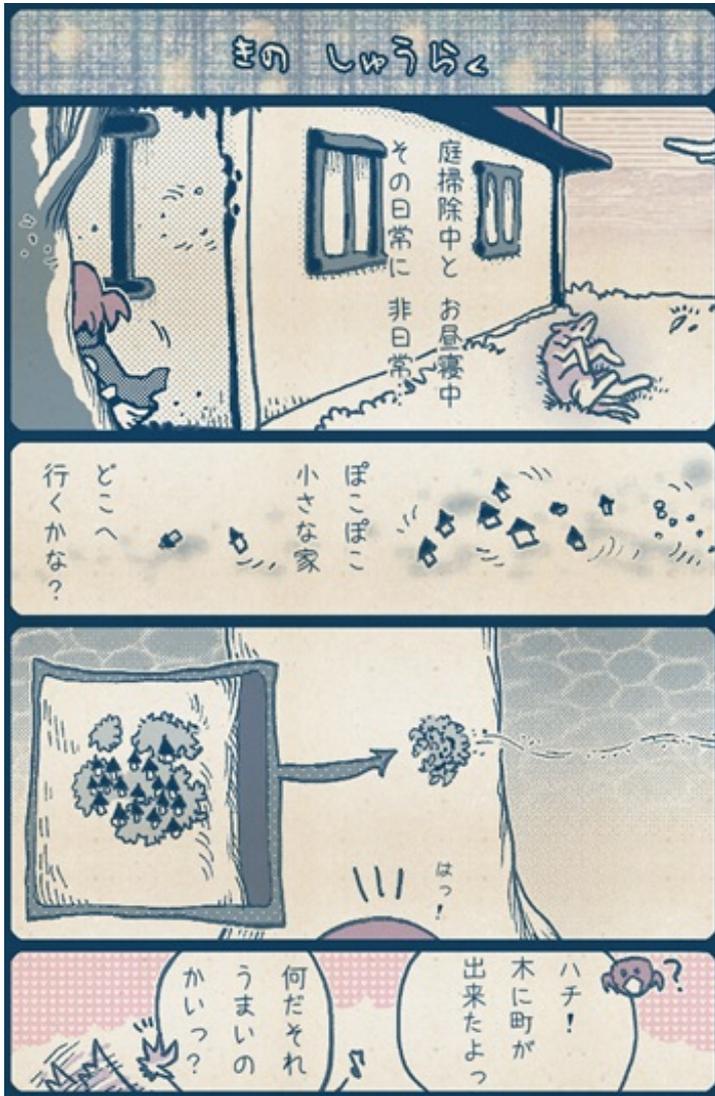
2かっさん まとめ















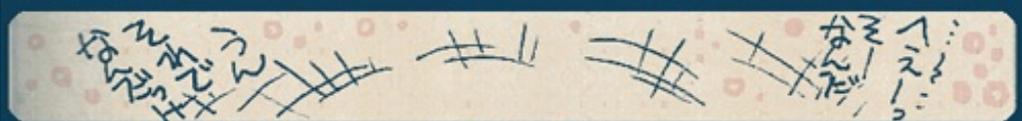
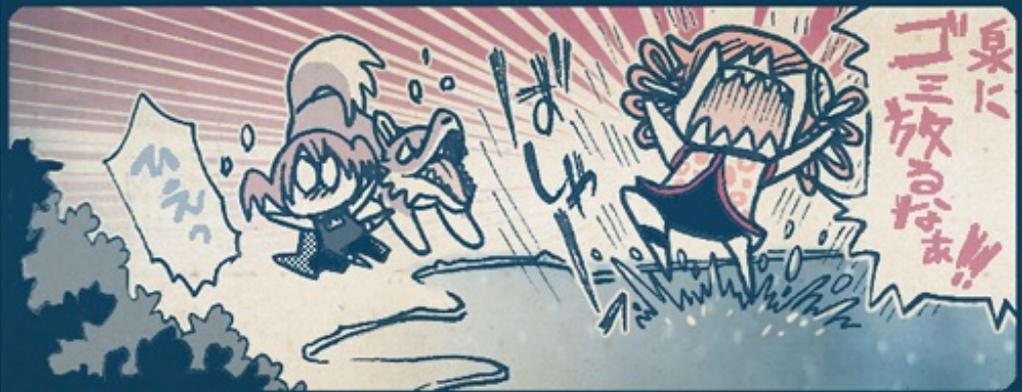




3のそれぞれ



10の2







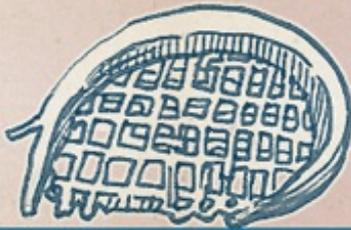
おん おふ



くさむら



道具も
準備し…



さあ、
草むしり



ぼくが決めても
いいのかな？

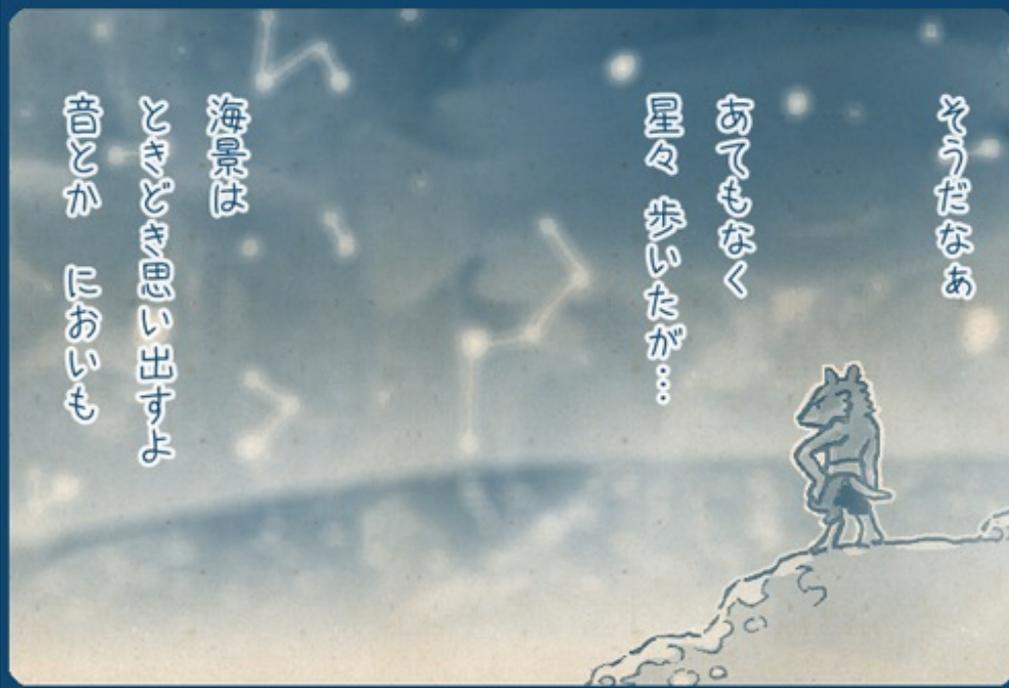
どれが雑草？

ふと、思った
いきいきの草
みて





おもかげのち



な と たい

群れでは
役割の呼び名

ハチの名は
ツモルが
くれたんだ。

直感で
つけた！

魔法を心得たとき
前の名は捨てて…
今の名も仮名です

結局
謎だっ

ツモル、
しあん

僕の名前の
いみって？
のあれこれ

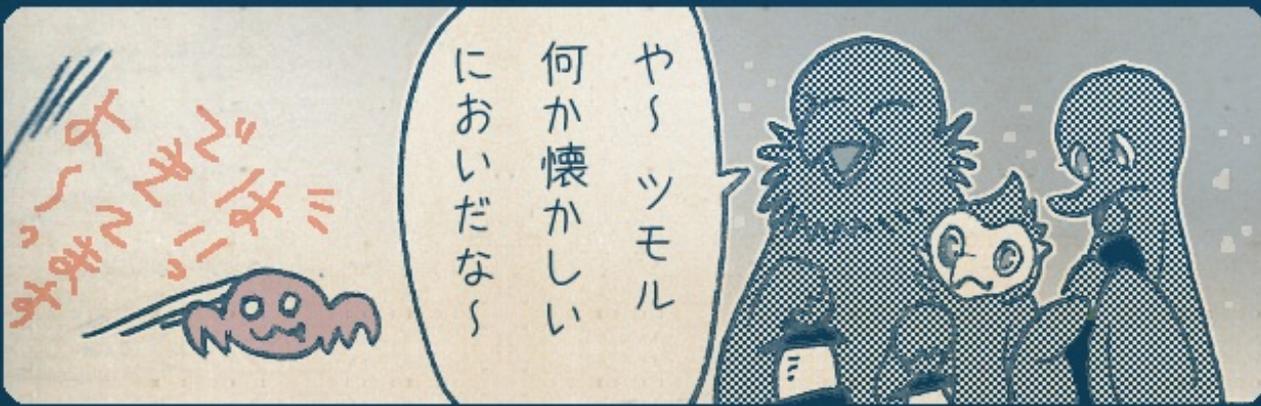
部屋屋

そして子

しずみうかぶ
こころです。



きやめつ



やゝツモル
何か懐かしい
においだなゝ



これは
何ですか？

きやめつ！

庭に飛んで
きたのを、
よく洗って乾かして
じっくり煮込んだよ。



漂う何か
新めにゆーに
なりました。

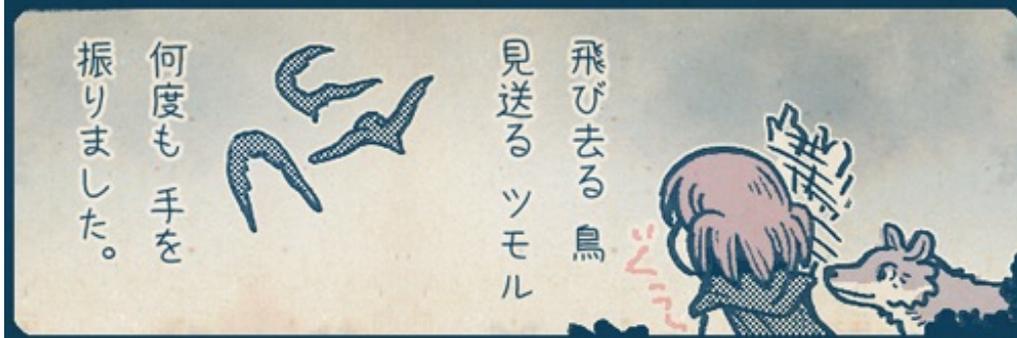
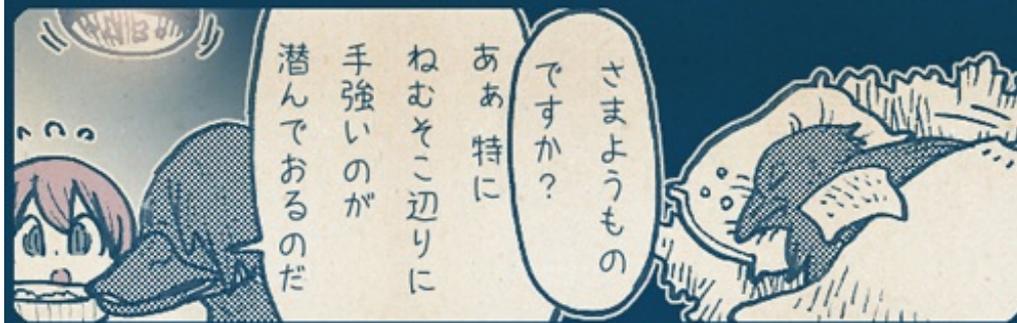
んんんんん

みのなか





はこびのかけ



つもるもうそう



怖くない
怖くない
怖くない...



へんてこな
対処法でした。





10の3



…わしはモド
辻占をしとる
なにちと
客が暴れてな

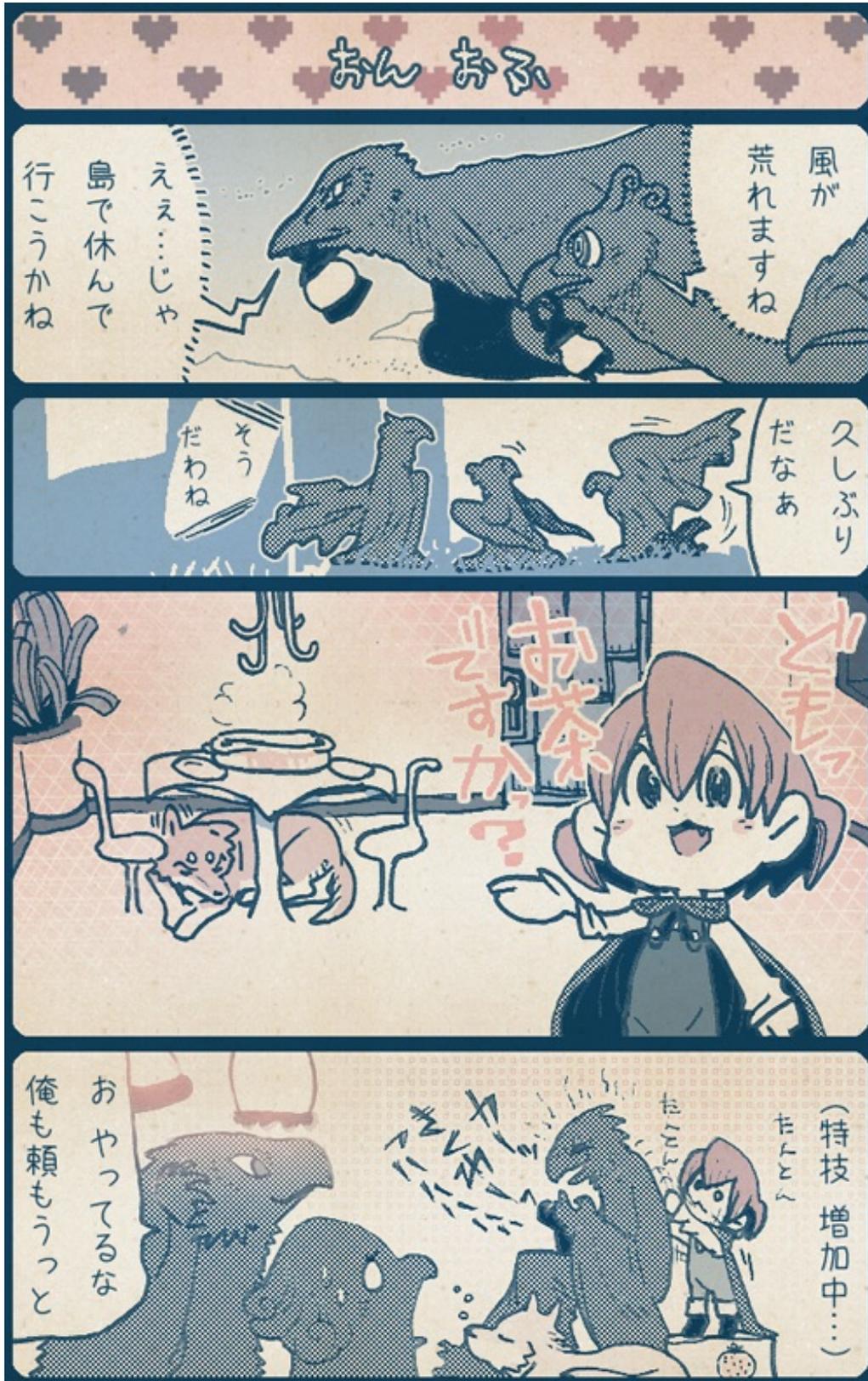
いやいや
先の凶しか見えぬ
よって厄介者さ



僕ツモルです
占いすごいな



接ぎの浮島に
占いの部屋
開業しました。



3 井ノ口 ますみ





つもる もうそう



おい
大犬の奴
いるか？



あ、先輩。

ああいかんです
島割れちゃう！

ニト千

今日は
ハチさんの
仔時代のお話



老師！お噂は
かねがね…
おれを弟子に！



私ではない
老師様は
そちらだ。
KLLK

たまととり

いつかのツモル
1羽の翼使に
出会いました。



君大丈夫
かい？
この辺りは
魔物…

楽シイ平気
僕道ワカル
魔物ナイ

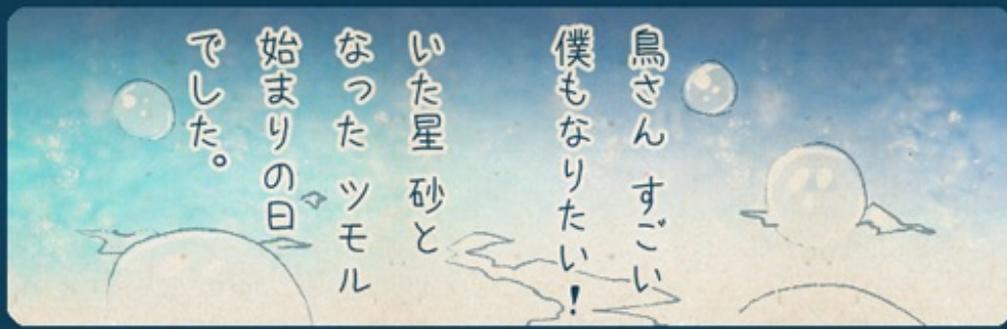


こら 夢見の子に
憑くでない…
灯リに入らんかっ



ほわあ!

鳥さん すごい
僕もなりたい!
いた星砂と
なったツモル
始まりの日
でした。



翼使のつぶ



鳥犬半透明

あと子

今日は庭で

お昼のようです。



翼使

さんて、

なん

だろう。

そういうえ

わしも1度

見かけた様な…



あれは 生暖かい

風の吹く夜だった

占いの

客だったの

か

鳥の様な声で 礼を言い

目玉のある鬼火と消えた



あ

すまん…

突如怪談を

私は

好まし

お題目。



みずごしごころ



おんぶ つもる



ん
数えてないな

ハチって
何才？



ずっとはない
ほぼ全て曖昧
俺や ツモルも
だから来れた



いつか…
いつか？

ずっとは
ない



あゝ悪いなッ
今作るから…

ハチって
何才？

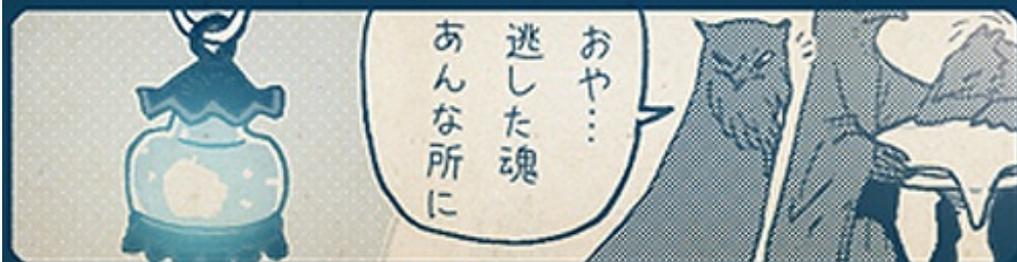




かたからつもる



つばさとたま



おや…
逃した魂
あんな所に



牛なる迷宮王
城ごと匿う
とは…おぬし
哀れな従者よ



ふはは
囁り居なさい

牛先生に
新たな力授かるは
この私ノットだ…



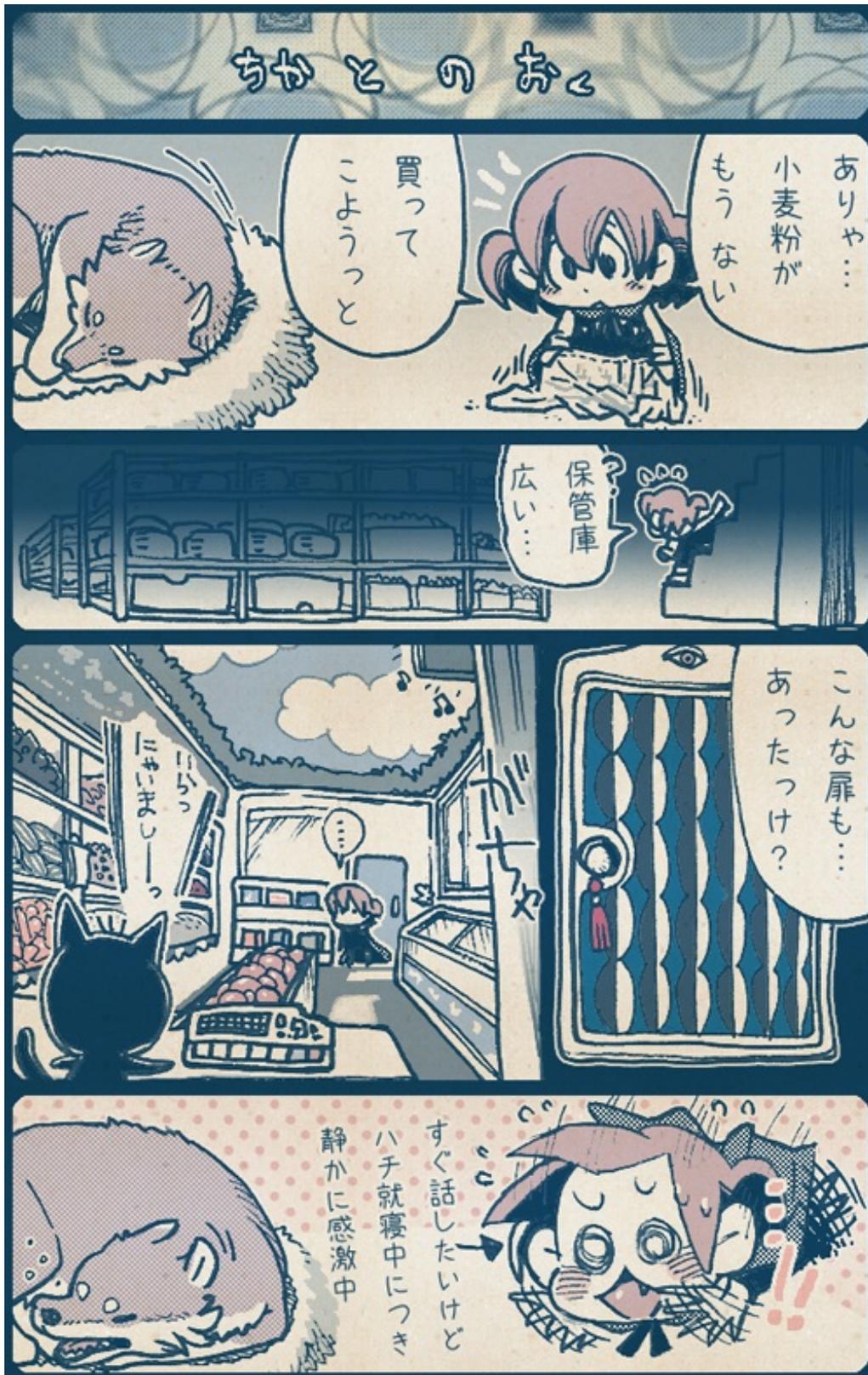
思いうらはし
意味深な会話
その奥の意味
なんだろうな？



ゆめのおくゆめ









10の4



倒れた生物
出会いました。



買出し靴
中には...



空の甕へんてこで
少し満ち

未知の生物げんぎに!



4/10



おつかい歴
段々と...



ゆめみのこ



おくゆめ現象



夢の奥の
みしぎ
またーっ



わたり たち



風音と
ノック
誰かな？



見慣れぬ
翼使さんず
でした。



ニモ。



サバ

波りの
ヘリッ
フィルム？



波りの翼は
精鋭の証

めいをうけ
遠くと遠くを
運ぶそうです。



その景色
さまよい
とは...

あーっ
と来た



ノット さまよう

ある灯りの
中の迷宮

その最奥と
はぐれた体
想い 誓い…

ノットさん
挑む 魂



しらたま

ハチが何か
くわえて来ました。



ふわりと
軽い
ひんやり
冷たい
薄い布
淡い煙
そんな感触
なきごえか
ねいきか
すうすうと



ほふふ...

接ぎの島
ある朝です。



たこ + いぬ たっぐ



ばく？のまどろみ

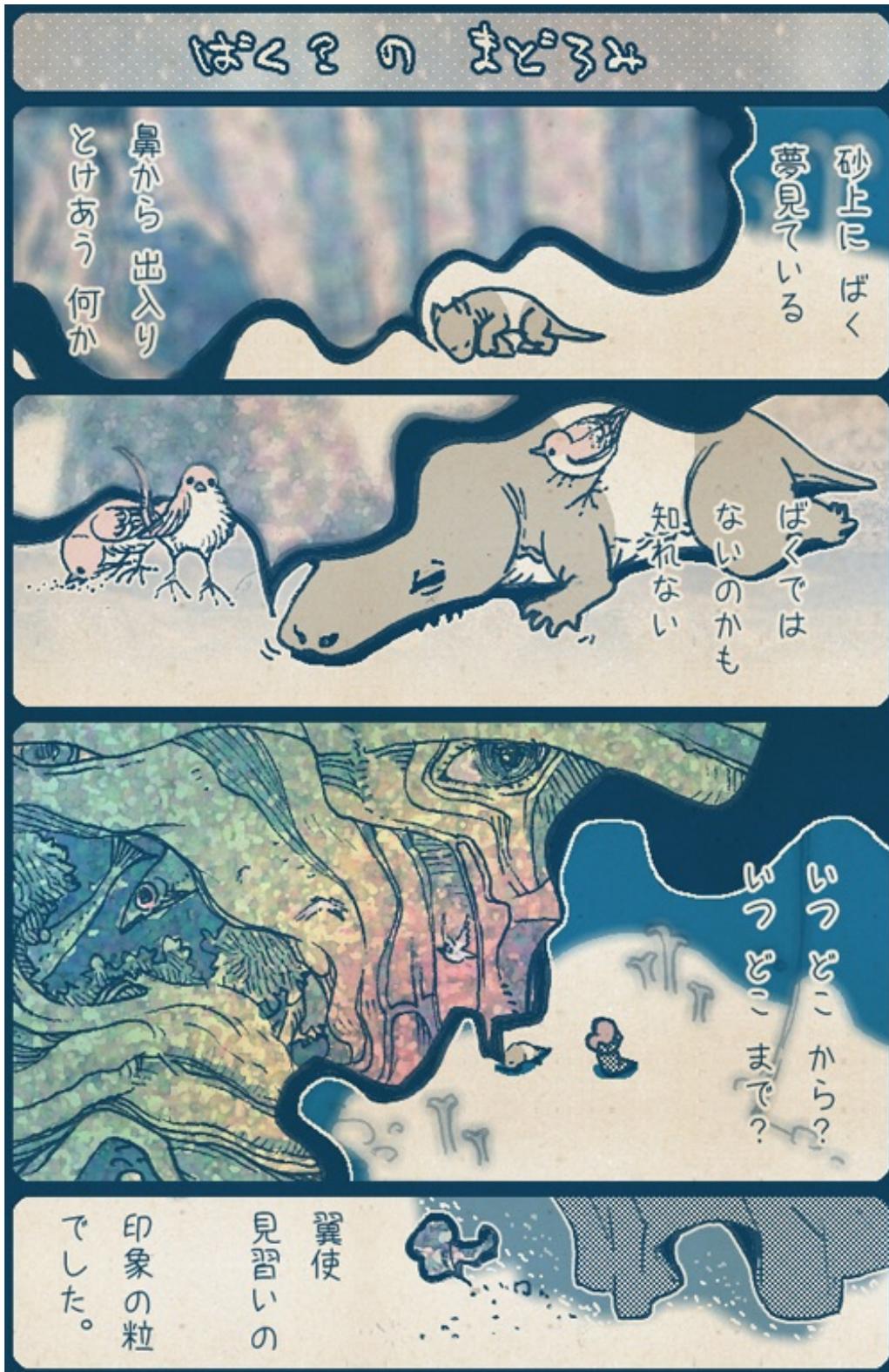
砂上にばく
夢見ている

鼻から出入り
とけあう何か

ばくでは
ないのかも
知らない

いつどこから？
いつどこまで？

翼使
見習いの
印象の粒
でした。





==3 とほんたい



あれ？早いね
ノットさん。

イヤハヤ
迷宮メンテ中
らしくって…



迷宮 そうですねば

ノットさん なぜ？

と聞かれ…

迷宮の奥には再び
まみえたき 獣が
皆が恐れる巨軀でも
私には美しいのです。

そう 答えました。



いやあ
違います。

おお
どんなの
かなあ？
ハチミたいのかなっ



久しぶりにコピックを使ってみました。

そういえばツモルくん、牙というか八重歯っぽいものあったなあ... (遠い目)

おまけ2 つもる ていー しーずんず

1.

ツル：今日は、雪をあしらったお茶です。

ハチ：おお！春を筋力で迎え撃つ茶ってことだな ツモル！

ノト：撃ってはいけません。飲むのです。

鳥a：...

鳥b：多分 あしらってあったんだな、雪を思わせる何かが
...溶けちゃってるけどま、まあ

2.

ハチ：おお！これは福茶というやつだな、ツモル！

これで健康力を身につけ登竜門を叩くというあの！

ツル：んん？ うん。梅干と、まめと、あとぶんこと山椒入ってるよ。

鳥：おお、よき風味のぶんこだねえ

ノト：（どれだろうか、ぶんこ...）

3.

ノト：おお、なんと芳しきかほりでしょう。

ツル：春ということで、今日は花茶を淹れました。

ハチ：すごいなあツモル、こういう茶も学んだんだなあ よしよしっ

ツル：いやあ、鬼市ってとこで売っててね、こりゃいいなあってね

鳥a：すやすや...

鳥b：おい大丈夫か、鼻から花がはなが...うっ...はな...ふふふびよ いやいや！

鳥c：これは綺麗。空き瓶に活けてみようか

ノト：（こんなに麗しき香りなのに、湯気しか飲めぬのは せつないなあ）

※普通の花茶は、鼻から花は出ません。でも、よい香りです。

おつかいツモル 1

<http://p.booklog.jp/book/103816>

どうもです。今年もお話、はじまりました。
と思ったら、もうまとめ本1巻。月日ははやいなあ...
さて、へんてこな3人+色々、どうなっていくかな？

※一部頁の順がup時と違う所があります。
up時に間違えたものであり、こちらが本来の並びです。気をつけねばっ

(2巻めは、2016年7月頃?にまとめます!)

著者：謡犬 ユネ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yuneutainu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/103816>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/103816>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ